

事業報告書

1 支 援 団 体 名	NPO 法人 大淀川流域ネットワーク		
2 事 業 名 称	大淀川の自然体験合宿		
3 実 施 日 時	平成 26 年 7 月 20 日～21 日		
4 実 施 場 所	綾町合宿センター及び綾北川		
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) ＊できるだけ詳細に 大淀川流域の子どもを対象として、1 泊 2 日の日程で合宿を行い、ダムの役割の学習や川での安全教室、五感による環境調査などを通して、ダムの役割や川と人との関わり、川とダムの大切さ・素晴らしさに気付くことの重要性を学習し、次世代の地域づくりの先駆者を育成した。なお、河川での活動では、当団体で実施した安全研修会でスキルを得た川での自然体験指導者や地元の宮崎大学生をスタッフとして配置して、地域と連携した活動とした。 プログラム 7 月 20 日 開会式・オリエンテーション・ネイチャーゲーム・水辺の安全教室・五感による水辺調査・川遊び・魚トラップづくり・大淀川環境カルタ 7 月 21 日 魚トラップしかけ・川と人の関わり学習・綾第二発電所見学・魚トラップ回収・自然観察と野鳥観察・閉会式 (事業実施効果) 利便性が向上した今日においては、日常生活の中で川の素晴らしさや楽しさ、ダム等の利水施設の大切さを実感する機会が失われ、大切な命の源である水資源を大切にする意識が薄れている。大淀川流域の次世代を担う子ども達にダムの役割や川と人との関わり、川の大切さ・素晴らしさを正しく理解してもらう機会を提供することで、みんながダムの大切さを理解し、川と人との関わりを意識する地域づくりに貢献できた。また、川での自然体験指導者や地元の学生をスタッフとして配置することにより、地域との連携した活動ができた。		
6 参 加 内 訳	総人数	3 0	名
	(1) 主催者参加	1 0	名
	(2) 日本人参加 ((1) を除く)	2 0	名
	(3) 外国人参加 ((1) を除く)		名
7 今 後 の 方 針	募集 20 名に対して 44 名の申し込みがあり、キャンセル待ちの状態となったことから、ダムの役割や川と人との関わり、川の大切さ・素晴らしさについて正しく理解してもらうための学習・体験の場を提供することの必要性を強く感じたため、次年度も継続して実施していく。なお、次年度も地元学生の協力の内諾は得られている。		

オリエンテーション



ネイチャーゲーム



子供達の川遊び



大淀川環境カルタ



綾発電所見学



野鳥観察

